

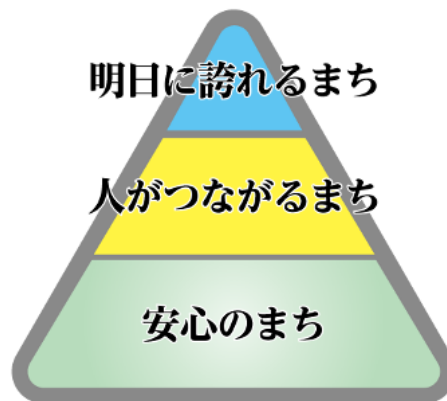
2

令和7年度事業の方向性について

基本的な考え方

「幸せになれるまち、都島区」

- 区民の安全・安心を守る防災・防犯などを礎に、活力ある地域社会の実現にむけて、様々な活動主体の取組を支援し、地域活動協議会（まちづくり協議会）を中心としたコミュニティ活性化につなげる。
- 地域の見守りなど、誰もが安心して暮らすための健康・福祉の充実、子育て・教育環境の充実など、現役世代の活力を生み出す取組を重点的に進める。
- 水と緑の豊かな都島区の魅力を発信し、わがまち意識の醸成をはかるとともに、区民の視点に立ったサービスの向上、質の高い行財政運営に取り組む。



安全・安心の まちづくり

区民の防災・防犯意識を高める啓発をはじめ、警察や地域と連携して、子どもや高齢者の見守り活動等を推進する。

路上喫煙やポイ捨てごみの減少に向けたマナー啓発や放置自転車対策に取り組む。

客引き適正化に向け夜間の街頭啓発に取り組む。



人と人がつながり、 助け合うまちづくり

地域活動協議会を軸とするコミュニティ活性化を推進するため、地域住民のつながりづくりやまちづくり参加に取り組む。

孤立しがちな家庭や育児不安を抱えている家庭を支援するため、子育てイベントや子育て相談等を実施し、子育て不安の軽減を図る。



明日に誇れる まちづくり

区の自然環境や歴史・文化資源を活かした魅力創出・発信に取り組む。

万博の機運醸成を図るとともに、万博を契機として、より戦略的な施策展開を行うための長期的なビジョンを策定し、区の将来像を示す。

学習支援を含む「子どもの居場所」を開設し、子どもを支える環境の充実に取り組むなど、未来の都島を担う人材育成のための取組を推進する。



区役所力の強化

職員の接遇スキルアップによる窓口サービスの向上、人に優しい庁舎づくり、情報発信力の強化を進めるとともに、ICTの活用やDXの推進による業務効率化など質の高い行政運営に取り組む。

2

令和7年度事業の方向性について



安全・安心のまちづくり

防災のまちづくり・防犯のまちづくり・安全で美しいまちづくり

現状・課題

防災

幅広い層への防災意識の向上にむけた啓発活動のほか、自主防災組織の避難所開設運営訓練等の支援に取り組んでいるが、一部実施できていない地域がある。

防犯

防犯意識の向上にむけ、警察や地域と連携した啓発活動に取り組むほか、青色防犯パトロール車による巡回を実施しているが、区内での犯罪発生件数は増加している。

美しいまち

美しいまちづくりの意識向上にむけ、環境美化活動や京橋駅周辺における夜間の環境啓発活動を実施しているが、放置自転車やごみのポイ捨ては依然として発生している。

事業の方向性

安全で安心なまちづくりをめざし、区民の防災・防犯意識を高める啓発や防災教育の推進に取り組む。また、広報誌やホームページ、SNS 等様々な手段を活用し、より効果的な情報発信に取り組む。

取組案

- ・ **防災** 高齢者や子育て層などの幅広い層に、在宅避難や日頃の備えの重要性について啓発活動を実施するとともに、地域の自主防災活動への支援をはじめ、避難所開設運営訓練の実施に取り組む。
- ・ **防犯** 青色防犯パトロール車による巡回や警察・地域と連携した防犯啓発等に取り組むとともに、SNS 等の広報媒体を積極的に活用した防犯情報の発信及び街頭犯罪を抑止する環境整備に取り組む。
- ・ **美しいまち** 新！都島クリーン作戦等の環境美化活動や夜間の環境啓発活動、放置自転車啓発活動について、引き続き地域と連携した取組を推進することで誰もが安全に通行できる美しいまちをめざす。



◀職員による地域安全対策（青色防犯パトロール）事業
地域見守り隊の皆さんと共に、登下校の見守りのほか、警察と連携し犯罪情報の即時発信を行いながら、区内を巡回している。



◀新！都島クリーン作戦
11月を清掃月間として一斉清掃日を設け、ボランティア清掃活動を呼びかけることで環境美化意識の向上を図り、路上喫煙やごみのないまちをめざしている。



◀地域防災活動への支援事業
地域防災訓練では、地域の役員が中心となって、被害想定等の正しい理解を学ぶ講座をはじめ、避難所開設に向けた初期初動の訓練を繰り返し実施している。



◀環境啓発活動
京橋地域の安全なまちづくり連絡協議会では、定期的に京橋駅周辺で歩行者が快適に通行できるよう、夜間環境啓発や放置自転車対策を実施している。

2

令和7年度事業の方向性について



人と人がつながり、助け合うまちづくり

安心して子育てできるまちづくり

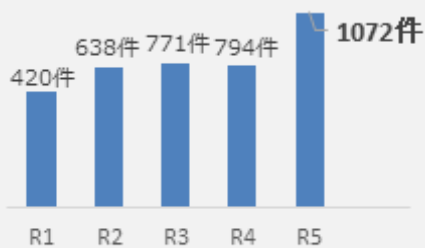
現状・課題

乳幼児健診、関係機関の訪問及び子育てイベントなどを通じて育児相談を実施し、育児不安や悩みの軽減・解消等に取り組んでおり、相談件数は増加傾向にある。

要保護児童対策地域協議会の運営により、児童虐待の未然防止・早期発見・アフターケアの各々の段階に応じた対応を検討している。

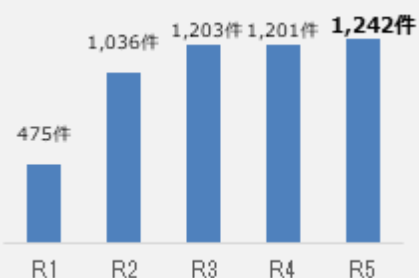
発達障がいやその疑いのある児童生徒が、学校や家庭に適応できず不登校や引きこもりになるケースが増えている。また、年齢が上がるにつれて、問題行動への対応に苦慮している保護者も増えており、臨床心理士への相談件数も増加傾向にある。

子育て支援室における相談件数



相談件数は増加傾向。今後もきめ細かな支援が必要。

臨床心理士による福祉相談



令和2年度より、臨床心理士を2名配置。サポート内容も多岐にわたる。

事業の方向性

子育てに関する相談対応や情報提供等により育児不安の軽減を図る。

臨床心理士等の配置や研修等により、発達障がいや不登校等への対応を支援する。

取組案

- 身近に相談できる場所として子育て支援室や子育て支援施設の情報を発信する。
- 臨床心理士等による福祉相談、支援関係者・保護者を対象にした発達障がいに関する研修等を実施し、発達障がいや不登校などの課題を抱える児童生徒やその家族への支援を行う。



▲子育てEXPOにて、子育て相談を同時開催

保育所、認定こども園、幼稚園など今後の入園先などの相談と同時に、子育て支援施設の案内や、乳幼児健康相談、子育て相談も同時開催し、気軽に相談できる場を提供した。

2

令和7年度事業の方向性について



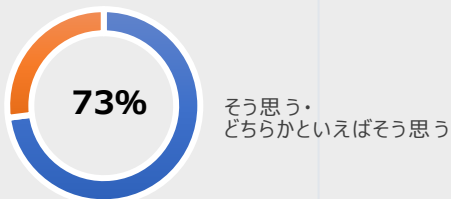
明日に誇れるまちづくり

魅力あるまちづくり

現状・課題

区の恵まれた自然環境、歴史文化などの資源が魅力向上や活性化に活かされていない。新たな魅力の発掘や情報発信が不足している。新たな魅力の創出・発信により、さらなるわがまち意識の醸成を図る必要がある。

令和5年度区民アンケート
「区に愛着や誇りを持っている割合」



事業の方向性

淀川、大川などの自然環境を活かしたにぎわいづくりなど、都市魅力の創出および発信を行い、区の魅力向上につなげるとともにわがまち意識の醸成をはかる。

取組案

水辺などの区内の魅力スポットでのイベントなどを通じて、魅力の創出・発信を行う。



◀桜ノ宮ビーチフェスティバル
(10月26日開催)
大阪ふれあいの水辺（桜ノ宮ビーチ）の活用を進めるため、共催として参画。「砂遊びひろば」には300名程度の申込があった。

都島区まちづくりビジョン(仮称)の策定

現状・課題

京橋地域が都市再生緊急整備地域に含まれており京橋駅周辺地域部会での検討が進められていることや、万博を契機として淀川沿いでのイベントが実施されること等、まちに変化が起こる兆しがある。
今後のまちの変化に対応し、より戦略的な施策展開を行うため、長期的な視点での区の将来像を示す必要がある。



◀京橋駅周辺地域部会で提示されたまちづくりのコンセプト

事業の方向性

今後のまちの長期的な変化に対応し、より戦略的な施策展開を行うため、長期的な視点での区の将来像を示す、都島区まちづくりビジョン(仮称)を策定し、今後のまちづくりにつなげる。

取組案

- ・都島区まちづくりビジョン(仮称)の策定に向け、調査検討等を行う
- ・2025年大阪・関西万博の機運醸成を契機として始まった、淀川沿い(淀川河川公園等)における地域魅力を発信するイベント等を実施

淀川沿いのイベント
パンフレット▶



2

令和7年度事業の方向性について



明日に誇れるまちづくり

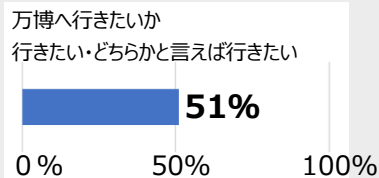
大阪・関西万博の機運醸成

現状・課題

万博の機運醸成としては、「みやこじま未来 EXPO」と銘打ち、のぼり掲示やみやくみやくパネルの設置などを、各種イベントなどの機会を捉えて行ってきた。

万博開催期間中も、区民や来街者に対し機運を高める取組の継続が必要。

「都島区民アンケート結果」(R5 年度)



事業の方向性

多くの区民や来街者に向けて、万博をPRするとともに、来訪した外国人に対して、観光資源を発信し、より多くの誘客につなげる。

取組案

- ・万博をテーマとしたシティドレッシングを行う
- ・外国人向けの京橋タウンガイド・周遊ガイド等を作成し、滞在中の満足度を高める取組を行う。

みやこじま未来EXP 取組例

- ◀ みやくみやくパネルや横断幕でのPR
区役所や京橋駅前などに設置し、万博をPR



- ◀ 多言語版ガイドマップの作成 (写真はイメージ)
商業施設や宿泊施設などと連携して誘客促進

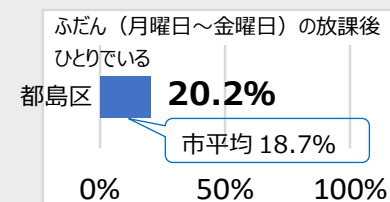
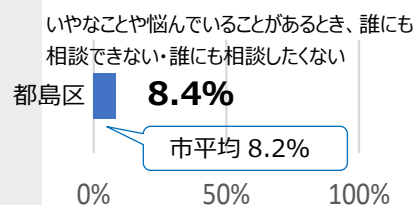
未来の都島を担う人材育成

現状・課題

子どもを支える人や場が不足しており、学びや遊びを通じた子どもの成長の機会を保障する支援が必要。

「子どもの生活に関する実態調査」(R5 年度実施)

(小学生へのアンケート)



事業の方向性

学校や地域団体等と連携し、学習支援を含む居場所づくりを推進し、子どもたちの成長の促進を図る。

取組案

学習支援を含む「子どもの居場所」を開設するとともに、多様な主体による「子どもの居場所づくり」を推進することで、子どもを支える環境の充実に取り組む。



- ◀ 都島区小学生サポート事業
区内の小学生を対象に、学習支援や悩み相談を行う居場所を区内全9地域に開設。

2

令和7年度事業の方向性について

区役所力の強化

区民の声が区政に反映される仕組みづくり

現状・課題

- ・ 市政・区政情報に加え、区内で実施されている地域活動等を広く周知するため、区広報誌や区ホームページ、X・LINE 等各種 SNS で積極的な発信に努めている。
- ・ 広報誌は、区民アンケートで「区役所からの情報（イベントやお知らせなど）を、広報誌から入手している」と回答した区民の割合が 77%（令和5年度）と高い水準にあり、全戸配布することにより区民に情報を届ける主要な広報媒体となっている。
- ・ 一方で、区ホームページや SNS から情報を入手している区民の割合は合計 20%であり、「大阪市情報発信等最適化施策」に基づき、区ホームページや SNS で、魅力的でタイムリーな情報発信を行う必要がある。

事業の方向性

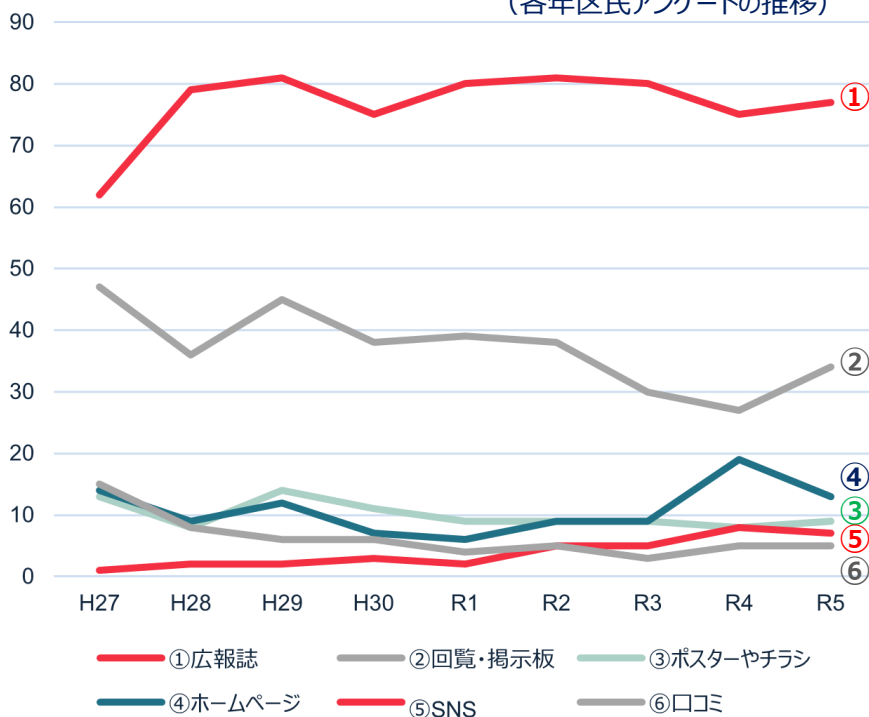
区内外から都島区の情報が見られるよう情報発信に努める。

取組案

- ・ 区広報誌は、くらしの基本情報を充実させつつ、タイムリーな情報にアクセスできるよう、二次元コードで区ホームページに連携するなど、区広報誌と区ホームページを連携させた情報発信を行う。
- ・ 区ホームページ、X 及び LINE で利用者目線に立った魅力的・効果的な発信・投稿を実施する。
- ・ 区民が携帯できる行政情報源として活用いただけるよう、大阪市公式 LINE のセグメント配信を充実していく。

区民が区役所からの情報を入手しているツール

（各年区民アンケートの推移）



広報みやこしま令和6年10月号



広報みやこしま令和6年8月号

大阪市公式 LINE 周知記事